

Rotary

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

Serve To Change Lives



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 倉 井 章

幹 事 渡 邊 和 裕

会報・雑誌委員長 原 賢一

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2951号 2022年5月10日(晴れ) 第39回例会 会員数115名

ハイブリッド例会

点 鐘 倉井 章会長
司 会 副SAA 山崎会員

◇国歌「君が代」

◇ロータリーソング「四つのテスト」

※マスクを着用し、心の中で斉唱

◇持帰り弁当 前菜 煮物 焼物 かに玉餡かけ
クリームコロッケ 炊込み御飯

ビジター紹介 加藤会長エレクト

◇卓話講師 児童養護施設 養徳園

施設長(園長) 加藤 準一様

◇宇都宮東ローターアクトクラブ(RAC)

会長 盛合 一功様

葉 姿君(ヨウ シクン) 様(米山奨学生)



会長挨拶 倉井 章会長

会員の皆様、こんにちは。4月26日の例会以来、2週間ぶりに皆様にお会い致します。本日も例会にご出席いただき有難うございます。3年ぶりの移動制限のないゴールデンウィークでしたが、皆様は連休どのお過ごしだったのでしょうか。私は、那須方面に一泊して温泉に浸かり日頃の疲れを癒してきました。

皆様に訃報のご案内をさせて頂きましたが、当クラブ会員の笹沼道正様が、4月30日にご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。笹沼会員は、2013年3月入会、9年間の在籍となります。

連休中の5月5日、宇都宮市内10RC親睦ゴルフ大会が、宇都宮南RCのホストのもと、宇都宮カントリークラブにおいて開催をされています。当クラブからは、15名の参加を頂きました。成績ですが、団体戦で4位、そして、個人戦もハンディに恵まれなかったようで、シニアの部で鈴木明会員が5

位に入ったのが最上位でした。参加された会員の皆様、大変お疲れ様でした。

また、8日には、ロータリー指導者のための地区研修・協議会が、作新学院大学で開かれました。地区においての行事では、久々の会場だけの開催となりましたが、コロナウイルス感染拡大防止のため、第1から第4グループが午前中、第5から第9グループが午後に分けて行われました。来週の5月第二例会のクラブ協議会において、ご報告を頂きます。

会員の皆様にお願い致しましたウクライナのロータリー災害救援基金ですが、38名の会員により3,500ドル(416,800円)の個人寄付が集まりました。ご協力に感謝したいと思います。

4月第三例会におきまして、お話をさせて頂きましたが、3年に一度開かれます2022年RI規定審議会が、4月10日~14日に開催されました。各地区から1名の参加代表議員総数は522名。シカゴ会場参加が324名(うち日本からは、当地区代表議員の中谷PGを含む9名)、また、バーチャル参加は198名(うち日本からは、25名)でした。全提案数は93件のうち採択29件、否決51件、撤回13件であります。日本から26件の提案がありましたが、採択された提案数は7件です。人頭分担金を据え置き提案は否決され、RI理事会提案の増額する件が採択されております。2023-24年度75ドル(現年度70ドル)、2024-25年度78.5ドル、2025-26年度82ドルとなります。

クラブ定款に関係するものとしては、

22-07 クラブ理事会が議事録を会員に提供する期限を改正する件として、理事会のすべての会合後30日以内に、書面による議事録を全会員が入手できるようにする。(現在は60日)

22-78 積極的平和を含めるよう奉仕部門を改正する件として、奉仕の第三部門に、地域社会における積極的平和を目指すことを追加する。

22-92 出席規定の免除手続の規定を改正する

件として、出席免除規定における理事会の承認を削除し、ロータリー歴と会員の年齢の合計が、85年以上であり、少なくとも20年のロータリアン歴がある人は、希望があればすべて認めることとする。の3項目となります。

本日は、ゲスト卓話です。コロナ禍で、この2年程なかなか積極的な活動が出来ておりませんが、田嶋年度において、ロータリー財団 地区補助金を受け、園外教育活動支援を行い、ローターアクトの社会奉仕活動として毎年奉仕活動を行っております、社会福祉法人 養徳園 園長であります加藤準一様から、「児童養護施設 養徳園の活動」と題しまして、卓話を頂きます。加藤様、宜しくお願い致します。

本日も最後まで宜しくお願い致します。

◇笹沼道正会員（4月30日ご逝去）のご冥福をお祈りいたしまして、黙祷を捧げたいと思います

— 黙 祷 —



新会員紹介

紹介者 渡邊和裕幹事

氏 名 石原 光 (いしはら ひかる)

年 齢 54歳

事業所名 (株)足利銀行 宇都宮中央支店



役 職 支店長

職業分類 銀行

所在地 〒320-8620 宇都宮市大通り1-4-16

電話番号 028-622-7131

FAX番号 028-621-9852

推薦者 倉井 章 会員

渡邊和裕 会員

※前任の半田雅一会員は退会となります。



幹事報告

渡邊和裕幹事

◇ロータリーレート 5月は1ドル130円

◇職場訪問例会 6月14日カンセキスタジアムとちぎで開催。現在33名の参加申込み。

◇公益財団法人東日本盲導犬協会より盲導犬育成募金 (35,000円) の礼状が届く。

◇本日18時30分～ ホテルニューイタヤにて 倉井年度定例理事会開催。

◇趣味の会の代表の方へお願い 2022～23年度現況報告書用の報告書、事務局にご提出を。

◇市内10RC親睦ゴルフ大会の記念品を後ほどお渡しします。クラブ4位賞、最年長賞 野口会員、ニアピン賞 山中会員 片嶋会員 他



委員会報告

◇親睦委員会

谷田部委員長

<誕生祝い・5月>

会員誕生

蜂須 賀勲、平野 利一、石原 光、
石川 元信、片嶋 常隆、長野 榮夫、
螺良 昭人、塚越 淳史、
横堀 学

各会員

夫人誕生

細谷 俊夫、飯泉 修一、小林 正明、
黒澤 佳樹、太城 敏之、山下 大介
各会員の奥様

◇スマイルボックス委員会

手塚委員長

石川元信会員

今日還暦になりました。初心にもどって生きていきたいと思ひます。

◇宇都宮東RAC盛合一功会長より葉姿君さんの紹介
盛合一功会長より挨拶

※盛合会長は現在宇都宮大学大学院2年で建築専攻。次年度でRAC歴6年目。今年度の主なクラブ活動は、「空き家改修」「カンボジア学習支援」「養徳園支援」とのこと。葉さんは養徳園支援のプロジェクトメンバーの一人。

葉姿君 (米山奨学生) さんより自己紹介



※出身は台湾、白鷗大学4年生で経営学を学ぶ。世話クラブは足利東RC。宇都宮東RACに入り活躍中。

「3分間スピーチ」



田嶋宏章会員

こんにちは。今日は紅茶の話をしたしたいと思います。実は、約2年前から弊社では「Y's tea」というオリオン通りにある紅茶専門店の紅茶を取り扱っております。昨年は11月1日の紅茶の日に「Y's tea」主催で開催された紅茶サミットに弊社のスタッフも参加させていただきました。今、紅茶を推しています。

「Y's tea」は2006年に起業し、代表の根本社長は紅茶に対して熱心な方で、全国各地で講演活動やコンサル、地元を中心にテレビ、ラジオへ出演して紅茶の普及活動をされています。少し前ですが「林先生の初耳学」「月曜から夜更かし」などでも取り上げられました。あまり知られていないかもしれませんが、2011年に宇都宮は紅茶消費量全国1位という実績もあります。1世帯あたりの年間消費量が400グラムを超えたそうです。その当時は「紅茶の街、宇都宮」として新たな観光資源として一躍、話題になったようです。

そんな「Y's tea」の紅茶を紹介させていただいていますが、私は元々、コーヒー派で紅茶とは無縁でした。しかし、「Y's tea」人気商品である「ワイズインペリアル」「シャンパンパーティー」を試飲した際に、芳醇な香りと深い味わいに感動したことが、1階のラウンジで提供するきっかけにもなりました。また紅茶にはフッ素成分が含まれており歯に良い利点もあるようです。機会がございましたら是非、ご賞味ください。

※次回3分間スピーチは石川元信会員



卓 話



「児童養護施設 養徳園の活動」

児童養護施設 養徳園施設長 加藤 準一 様
皆さん、こんにちは。今日はお招きいただきありがとうございます。私はさくら市にある児童養護施設養徳園の園長をしております。今日は児童養護施設について知っていただければと思います。

まず、児童養護施設 養徳園についてご紹介します。

・沿革について

栃木県内に児童養護施設は11施設あり、一

番北にあるのが養徳園です。昭和32年に野沢益治初代理事長兼施設長が私財をもって創設しております。その後、社会福祉法人の認可を受け、昭和48年に建物を改築、木造平屋建てから鉄筋になりました。平成7年に福田雅章先生が二代目の施設長に就任。今も社会福祉法人養徳園の全体の施設長として活躍し、国内でも、社会的養護に関して先駆的な取り組み、発信をしております。先代が亡くなり野沢浩樹理事長に代わり、平成17年に現在の建物になりました。建物は、渡邊有規さんの会社でお世話になりました。平成19年に氏家町で運営していた氏家養護園を引き継ぎました。地域分散化、小規模化が進む中で、平成20年には地域小規模養護施設「オアシスの家」を設立しています。これは、地域の民家をお借りし、一つの小さな養護施設として運営する形です。他にも、グループホームという形で、6人定員くらいで子ども達が生活しています。平成21年に「野沢ホーム」、平成22年に「野辺山の家」、平成25年に「なのはな」、平成27年に「福田ホーム」と開設しております。平成29年に創立60周年を迎えました。昨年から私が養徳園で園長を務めさせていただいております。

・施設の紹介 ー各建物を写真にて紹介ー 児童養護施設 養徳園

2階が3ユニット「すずらん」「たんぼぼ」「あすなろ」と分かれて6名定員目安で生活しています。1階は児童家庭支援センター「ちゅうりっぷ」として地域・家庭からの相談、市町の求めに応ずる事業、児童相談所の受託による指導と里親支援等の取り組みを行なっています。

グループホーム (6名定員)

「野沢ホーム」「なのはな」「福田ホーム」

地域小規模養護施設 (6名定員)

「オアシスの家」「野辺山の家」

・子ども達の生活について

ーリビング、キッチン、個室等写真にて紹介ー

次に、社会的養護の課題についてお話いたします。社会的養護ですが、施設で生活している子どももそうですし、里親、乳児院、児童心理治療施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設等の子どもたちを社会で養護していくことです。児童養護施設では幾つかの課題があります。ハイリスク家庭への支援が課題としてあげられ、支援するために児童家庭支援センターの設置があります。「親子関係の再構築への支援」「虐待はあっても支援の入っていない家庭が増えている」「孤立する家庭へより実効性のある支援が求められている」ということです。私たちも、いろいろな課題を抱

えた子どもたちと関わり、付き合っていく中で、答えがあるわけではありませんが、大切なことを伝えられるのではないかと思います。私たちが積み上げてきたものを地域に還元できればと思っています。

実際に施設に入っている子どもたちの課題として大きく2つあげました。ひとつは、被虐待児への対応です。小さい頃基本的信頼関係の獲得に失敗し、大人に対する不信感が核にある子どもたちが入ってきます。こちらの言ったことが素直に受け止められなかったり、試し行動があったり、関わり方の難しさがあります。マイナスからのスタートで、信頼関係、関係性の構築としつけを同時に行なわなければならない、施設教育の難しさがあります。子どもの心は「怒り」で満タンになって、ちょっとした刺激で過敏に反応してしまうことがあります。付き合い続けるということが大切になってきます。

もうひとつは、施設退所後の子どもへの支援です。高校を卒業して施設を出るといきなり現実にぶちあたります。「能力に関わらず一定の年齢がくると自立が強えられる」「社会生活と施設生活のギャップ」「親や家族からの支援が期待できない」「不安定な職業に就くことが多い」などの課題があります。施設を出てから挫折してしまうこともよくありますので、アフターフォローという

形で関わり続けています。社会に出て自立している状態とは、「次々に遭遇する危機をしなやかに乗り越えること」です。「自分はどうせ出来ないんだ」という子どもが多いので、「自分ならこんな危機を乗り越えられる」という自己肯定感を持つこと。そして、他人に上手に頼る、それも、きちんとした大人に頼れるということが大事になってくると思います。大人への不信感を抱えていると、卒業生の中にもいますが、大人に相談できないということがあります。困った時に、うちの生徒が相談してくれるような、きちんとした関わり方の積み重ねが重要になってくると思っています。私たちの子どもたちの関わりが本当にこれでよいのかと、いつも葛藤しております。答えはすぐに出ませんが、長いスパンでずっと付き合い続けることが、一番求められるところだと思っています。

このような形で養徳園は運営されております。実は、ローターアクトクラブさんとは10数年お世話になっていて、夏休みのリクリエーションなど子どもたちも楽しみにしています。コロナが落ち着いたらまた遊びに来ていただきたいと思います。ロータークラブの方々にもいろいろな形でご支援いただければと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。